

- 知的財産の活用こそが、日本の未来をつくる！
- 科学、医学、芸術、ポップカルチャーなどの分野は資源に頼らず「発想力」「努力」「知恵」で海外と勝負出来る。
- 知財分野には埋蔵金どころか、無尽蔵の「金鉱脈」がある！！

海外においてマンガ・アニメは正規の売り上げより、違法コピーの売り上げの方が多いと思われる。

例) 日本での新作発表の数日後にはネット上で翻訳版が出回る

当事国の若者に言わせると「日本がさっさと売らないから、待ちきれなくてコピーを見るのだ」などと、言い訳をさせてしまっている。

対策案) ①日本の発信力を高める為の（Web 上でも良い）拠点が必要。

②違法コピーに対抗するために新作配信している出版社（例、小学館など）等と連携し、支える。

③在外公館での違法コピー対策窓口の強化（著作権訴訟手続きのバックアップなど）

- 日本の「モノ」だというアピールを強化するために、海外工場制作の製品であっても「メイド・イン〇〇」だけでなく「ジャパンコンセプト」「デザイン BY JAPAN」「JAPAN コンテンツ」などとラベルやシールに併記する事を徹底するように各メーカーにお願いする。
  - ※ 海外のユーザーにとって「メイドイン〇〇」しか記されていないと、その「〇〇」の国に対する、あこがれしか育たない。
  - ※ 「メイドイン〇〇」との併記があるので、もし万一製造上のミスが生じて、日本へのマイナスイメージは軽減される。
- （これは2年前のこの会議で発言させて頂いたが、まだまだ PR 不足なので…）

- 日本国内の企業でしか作れない、すばらしい工業製品があるが、資金難から海外企業に経営権を握られる事態が生じている。
- 例) 世界一の技術を持っていた燕市のステンレス一体形成企業の権利は韓国に買い取られた。また国内での優遇措置が足りなくて、その企業の心臓部の制作すら海外拠点に移さざるをえなくなっているケースもある。
- 例) クボタのエンジン製作の中国工場移転
- 禁輸措置を採っている精密部品に対して税制優遇措置をとらないと、軍事転用機器の流出阻止に対する民間の理解が得られにくい。